

目指す学校像	生徒の望ましい成長を支援する学校		
重点目標	1 基礎基本を定着させる学習指導の工夫改善 2 地域と連携した教育活動の推進 3 魅力ある学校づくりの推進 4 機動力のある教職員組織の構築		

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	（8割以上）
	B	概ね達成	（6割以上）
	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標					年 度 評 価			実施日令和5年2月22日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	〈現状〉 ○全国学力・学習状況調査や、市学習状況調査において、国語・数学ともに、理解力にやや課題が見られた。 ○ICTに詳しい教員が多く、エヴァンジェリストを中心に「GIGAスクール構想」を推進している。 〈課題〉 ○各教科において、学びに向かう意欲を高め、基礎基本を確実に定着させることが必要である。	○生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着	①授業において、自分の考えを発表する場面を多く設定する。 ②自分で学習を進めていく習慣を身に付けるために、「スタディサプリ」の活用や、長期休業中におけるタブレットの家庭学習利用を実施する。	①市の学習状況調査において、学習意欲に関する項目の数値が、市の平均を上回ったか。 ②各教科において「スタディサプリ」を活用する機会を設けることができたか。					
		○一人1台端末のさらなる活用	①エヴァンジェリストによる「GIGAスクール構想」に基づく、ICT活用の情報共有の研修を実施する。 ②各教科において、一人1台端末の効果的な活用について実践を進める。	①校内研修等において、新しい実践事例についての情報共有ができたか。 ②各教科において、一人1台端末の活用の機会を増やすことができたか。					
2	〈現状〉 ○指扇北小と連携して、コミュニティスクールを実施している。学校運営協議会では、育成したい生徒像等について熟議を重ね、「郷土愛」をテーマにしていくことを確認した。 ○指扇地区は、地域との繋がりや協力体制が既に確立されている。 〈課題〉 ○地域や保護者への周知・理解をさらに深めていく必要がある。	○行事等への参加を通じた地域とのさらなる連携	①現在実施している地域の行事等を、有効に活用していく。 ②地域と連携した学校行事により、地域の教育力が効果的に発揮できる内容となるようにする。	①「指扇まつり」等の地域の行事に積極的に参加・協力ができたか。 ②「扇坂体験講座」や「幼児ふれ合い体験」実施後の生徒アンケートの達成度が前年より上昇しているか。					
		○コミュニティスクールや学校運営協議会についての広報	①学校だよりやホームページ（月2回更新）の校長日記等で活動の様子を紹介する。	①学校評価の保護者アンケートにおいて、学校からの情報発信に関する項目の数値が、前年度より高まったか。					
3	〈現状〉 ○「美しく彩りのある学校」を目指し、様々な手法を使って取り組んでいる。 ○「STEAMS教育（ART）」の研究委嘱3年目となり、教育先進校の事例等を参考にしながら、本校ならではの取組にしていこうと研究している。 〈課題〉 ○本年度の「STEAMS教育（ART）」の本発表研究に向けて、指導主事を招いての研修を実施し、研究を深めていく必要がある。	○校内外の環境整備の充実	①教職員や環境委員会生徒と共に、委員会の活動時間を活用しながら、校内掲示や環境整備を行う。	①学校評価の保護者アンケートにおいて、学校への信頼に関する項目の数値が、前年度より高まったか。					
		○「STEAMS教育」の研究による学びの実現	①「STEAMS TIME」において、プログラミング教育及び探究的な学びになるように実践する。 ②「ART」を軸にしながらもSDGS教育の一環としての実践になるように、関係企業との連携を図っていく。	①「STEAMS TIME」実施後の生徒アンケートにおいて、関心意欲が高まったという割合が、全体の8割程度となったか。 ②「ART」と関連付けて、授業を実施し、研究を深めることができたか。					
4	〈現状〉 ○服務についての意識は比較的高く、業務に対して誠実に取り組んでいる。 ○時事的な教育課題に対応するため、校内研修等で情報共有を行っている。 〈課題〉 ○職員の年齢層が若く、計画的に資質向上を行っていく必要がある。	○指導力及び資質向上のための研修の充実	①職員会議や職員集会を活用して、校長からの情報の伝達をこま目に行う。 ②研究主任・生徒指導主任・教育相談主任等を中心として、組織的に研修会を開催する。	①全教職員が自分事として捉え、情報を共有し、以後の教育活動に生かすことができたか。 ②授業改善や指導力向上の視点で捉え、意欲的に参加することができたか。					